

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 19
R4. 6.10
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

令和4年度福島県学校歯科保健優良校表彰



優秀賞受賞!

学校の保健活動を通して歯科保健の推進に努めた功績が認められ、本校が、標記の表彰で「優秀賞」を受賞しました。昨日、福島市の福島県歯科医師会館で表彰式が行われ、児童代表として、保健委員会委員長の6年生と校長が参加してまいりました。

この受賞は、学校だけでなく、お子さんの歯・口の健康づくりについて高い関心を持たれ、歯磨きの励行やむし歯の治療等にお取り組みいただいた保護者の皆様のご協力があったのものとっております。心より感謝申し上げますとともに、受賞のお知らせをし、皆様と受賞の喜びを分かち合いたいと思います。

「ことばの力」を考える…②

「一秒の言葉」

小泉 吉弘 作

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人の優しさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉に、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉に、しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを観ることがある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになることがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

いっしょけんめい
一所懸命、一秒。

人は生きる

左の詩は、「校長室暗唱チャレンジ」の高学年の課題です。この詩は、1984年にラジオ番組「ゆく年、くる年」で放送された時計メーカーのCMです。最後の「人は生きる」のところには、時計メーカーの社名が入っていました。後に詩集として出版するときに、「人は生きる」の言葉を入れたと作者は振り返っています。

たった一言が、相手を幸せな気持ちにさせたり、元気をあげたりします。

たった一言が、相手の心を傷つけたり、悲しませたりします。

ほんの一秒でできるあいさつや言葉かけが、人の心と心をつないでいきます。

大切な思いを短い言葉に託して伝えています。

6年生の子どもたちの「あいさつプロジェクト」が動き出します。

優しい気持ちがこもったあいさつや言葉が磐梯一小に広がり、また、地域に広がっていくことを願っています。